

様小通信 ソビラ

No.06

令和8年8月31日発行

様似町立様似小学校



『共生社会の担い手』を育む

校長 鹿海 裕子

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。保護者や地域の皆様の温かい見守りのおかげで、子どもたち一人一人が自分の命をしっかりと守り、大きな事故や怪我もなく、こうして元気に登校してきてくれたことを心から嬉しく思います。

さて、夏休み明けの全校集会では、子どもたちに一つお願いをしました。それは、前期が終了する9月末までの期間で、「こんなことにチャレンジしたい」「自分のこんな得意を伸ばしたい」という目標を一人一人が考え、近くの友達と伝え合うということです。真剣に自分の目標を考え、互いの思いを笑顔で共有し合う子どもたちの姿に、これからのさらなる成長への大きな期待を抱きました。

さて夏休み中、私はある本を読み、これからの社会と教育のあり方について深く考えさせられました。その本には、およそ次のようなことが書かれていました。

二十年後、日本は超高齢化社会になります。素早く動いたり、軽々と身のこなしができたりする人がほとんどいない社会です。そのような中、「邪魔だよ、どけ」「ぐずぐずするな」という態度では暮らしてはいけません。…また、外国につながるのある人も増えます。日本の文化や言葉に馴染めない人が今以上に増える社会にあって、「言わなくても分かるでしょう」「空気を読んでよ」という態度でも暮らしてはいけません。…だからこそ、今、子どもたちが多様な人と接し、共に生きていく経験が絶対に必要です。つまり、真の共生社会とは、「ちっ」と舌打ちする人がいない社会なのです。…待てる寛容さのある人たちが構成される社会が共生社会なのです。

この文章に触れたとき、私は様似小学校の子どもたちの日常の姿を思い浮かべました。例えば、登校バスから降りる時のことです。前の人がカバンの中から定期券を出すのに手間取り、時間がかかってしまうことがあります。しかし、後ろで待っている本校の子どもたちは、誰一人として「ちっ」と舌打ちなどしません。それどころか、「大丈夫？」「あってよかったね」と、温かい声をかけることができます。また、6年生の修学旅行でも素敵な場面がありました。バイキング形式の食事で、おかずを取ろうとした時に他のお客さんとタイミングが重なってしまった際、自然に「どうぞ」と相手に譲る…という光景を幾度となく目にしました。外国人の方には、身振り手振りで何とか伝えようとしている人もいました。

そんな優しく思いやりに溢れる子どもたちの姿を思い起こしたとき、私の中に「共生社会の担い手」という言葉が鮮明に浮かんできました。子どもたちの中には、すでに多様な他者を理解し、共に生きるための土台がしっかりと築かれています。

『共生社会の担い手を育む』…読んだ書物では、「これを教育の合言葉にしませんか」という投げかけで締めくくられていました。理想は、ただ心に秘めているだけでは現実になりません。言葉にして伝え続けることで、初めて形になっていきます。多様性を理解し、互いに尊重し合える子どもを育てていく。そして様似小学校が、誰もが居心地の良い、「ちっ」という舌打ちのない社会を目指す学校でありたいと強く願っています。

前期後半、そして後期に向けて、子どもたちがさらに大きく成長できるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



シン・サマニンジャーと！

日本女子大学との連携による 「食育イベント」開催

日本女子大学より「日高地方の地域が抱える健康課題をともに解決していきたい」という心強いご提案をいただき、本校では全校一斉の「食育イベント」を8月25日（火）に開催いたしました。事前の同意書やアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

イベント当日は、2～4時間目にかけて学年ごとに特別な取り組みを行いました。

まずは自分の体の状態を知ることからスタートです。体組成や骨量の測定



をはじめ、ご同意いただいたご家庭のお子さんは咀嚼（そしゃく）能力測定や口腔内診査を行いました。

続く講話では、大学生の皆さんが「食べることの大切さ」や「栄養バランス」について、子どもたちに分かりやすく語りかけてくださいました。子供たち一人一人が自分の体と真剣に向き合い、食の大切さについてじっくりと思いを巡らせる充実した1時間となりました。

給食の時間には大学生や大学の先生方をお迎えし、和やかな雰囲気の中で

会話を弾ませながら楽しい団らんのひとときを過ごしました。「食べることは、生きること」。私



たちの体と心は、毎日の食事によって支えられているということを、子供たちなりに実感できる貴重な機会となりました。ご協力いただいた保護者・地域の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

新しいALTの先生 が着任しました

7月末に任期満了のため退職されたウエダ・アリッサ・ミカ先生の後任として、新しくALTのアントン・クリステン・ミッシェル先生が着任されました。アメリカ・バージニア州レストン出身です。よろしくお願いします。



サッカーボールを寄贈していただきました

明治安田生命様より「未来世代応援アクションwithJリーグ」の取組の一環として、サッカーボールが寄贈され、始業日に校長先生から児童を代表して児童会長の新谷海斗さんに贈呈されました。せっかくいただきましたので、仲良く使って欲しいと思います。



9月の行事予定

- 1日（火）1日防災学校
避難訓練（地震・津波）
- 2日（水）様中登校⑦
- 3日（木）宿泊研修（5年～4日まで）
- 4日（金）5時間授業日
- 7日（月）家庭学習しっかり週間
フッ化物洗口
- 8日（火）クラブ④ 町PTA連合役員会
- 9日（水）年長児様小登校⑤
- 11日（金）スクールカウンセラー来校
- 14日（月）フッ化物洗口
- 15日（火）クラブ⑤ 放課後学習（低学年）
- 16日（水）放課後学習（高学年）
- 18日（金）5時間授業日
バスの日イベント（2年生）
- 24日（木）文化芸術鑑賞
- 25日（金）4時間授業日（ランチあり）
新入生知能検査 PTAバレー
- 28日（月）フッ化物洗口
- 29日（火）地域参観日（5時間授業）
様中登校⑧